

令和6年度 必読書・推薦書リスト

学校名	大磯	高等学校	学校整理番号 (3桁)	158
-----	----	------	----------------	-----

コメント欄(必読書・推薦書の選定に当たっての各校の特色を生かした視点などを200字以内で記載してください。)

今年度、図書委員会発行の広報誌に掲載した、大磯高校の先生方のおすすめ本です。またグローバル教育研究推進校に指定されたので、自国に留まらず世界へ向けて広い視野が持てるような本を中心に選定しました。

NDC (3桁)	書名	作者名	出版社	概要
1 159	君は君の人生の主役になれ	鳥羽 和久	筑摩書房	著者はあなたにそう問い続ける。君は自分の人生を生きているか？
2 304	堤未果のショック・ドクトリン	堤 未果	幻冬舎	「ショック・ドクトリン」とは、テロや大災害など、恐怖で国民が思考停止している最中に、為政者や巨大資本がどさくさ紛れに過激な政策を押し進める悪魔の手法のことである。この本を読んで、TVや政府がやたらに薦める事には疑いの目を持って、本当に自分たちの為になる政策をしてくれる人を選ぶ目を養って欲しい。
3 319	歴史で読み解く！世界情勢のきほん	池上 彰	ポプラ社	私たちは、どれだけ世界のことを理解しているのか。ロシアのウクライナ侵攻、イギリスのEU離脱など、大勢の人が予測を外す出来事が続いている。それぞれの国家や国民意識が生まれた歴史をひもとくと、世界が見えてくる！
4 319	ガザー日本人外交官が見たイスラエルとパレスチナ	中川 浩一	幻冬舎	ガザ、イスラエルに駐在し、PLOアラファト議長の通訳も務めた外交官が目撃した、この世の地獄とは？ オスロ合意、キャンプ・デービッド・サミットの裏側、アラブ人とユダヤ人の本音、歴代アメリカ大統領の計算、難民キャンプの実情など、日本人が知らない、ガザとガザをめぐる歴史のすべてがわかる本。
5 469	虫とゴリラ	養老 孟司 山極 寿一	毎日新聞出版	解剖学者で昆虫学者の養老先生と霊長類・人類学者の山極先生の対談。私たち人類の進むべき道を教えてくれています。
6 491	メンタル脳	アンデシュ・ハンセン マッツ・ヴェンブラード	新潮社	「史上最悪のメンタル」と言われる現代人。とりわけ若年層の心の問題は世界的に深刻だ。脳科学からメンタルの問題を解説した世界的ベストセラー『ストレス脳』をあらゆる世代向けに、わかりやすくコンパクトにした〈心の取説〉。
7 599	1歳の君とバナナハ	岡田 悠	小学館	手紙形式で我が子に送られる育児エッセイです。自分の中にはない視点で世の中を見るきっかけになる素敵な1冊です。

8	628	トマト缶の黒い真実	ジャン＝バティスト・マレー	太田出版	トマトは一七〇カ国で生産され、トマト加工業界の年間売上高は一〇〇億ドルにのぼる。だがトマト缶がどのように生産・加工されているかはほとんど知られていない。世界中で行われている産地偽装、大量の添加物や劣化した原料を使用する生産現場、奴隷的に働かされる労働者などさまざまな問題を暴く。
9	783	挫折と挑戦一壁をこえて行こう	中竹 竜二	PHP研究所	以前に働いていた学校で、悩みを抱えていた生徒と一緒に探して読んだ本です。10代で多感な時期のモヤモヤした気持ちを少し軽くしてくれる本です。
10	911	万葉恋歌：日本人にとって「愛する」とは	永井 路子	光文社	今から1250年以上前に作られた国民的歌集「万葉集」は、古代・万葉人によって様々な身分(天皇・皇后から皇族、一般庶民まで)老若男女にわたって詠まれ、今日まで日本国民の財産として遺されています。令和の元号もこの万葉集からのもので、作者が優しく解説してくれます。令和の元号もこの万葉集からのもので、作者が優しく解説してくれます。
11	913	むかしむかしあるところに、死体がありました。	青柳 碧人	双葉社	日本昔ばなし×ミステリーということで読んでみたら、とても面白かったです。思わず、ページを遡りました！
12	913	スター	朝井 リョウ	朝日新聞出版	「どっちが先に有名監督になるか、勝負だな」新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した立原尚吾と大土井紘。ふたりは大学卒業後、名監督への弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の道を選ぶ。受賞歴、再生回数、完成度、利益、受け手の反応——作品の質や価値は何をもって測られるのか。私たちはこの世界に、どの物差しを添えるのか。
13	913	終末のフール	伊坂 幸太郎	集英社	この本は、「8年後に小惑星が衝突し、地球は滅亡する」。そう予告されて5年が過ぎた仙台の団地が舞台です。残された3年という限られた時間の中で、人はどのように「人生」に向き合うのか、どんなに悲惨で希望が見出せなくても人は生きていく、そういった姿が描かれています。これを読めばどのように「人生」を歩むのか、苦難に直面した時どう対処するのか、それらに対するヒントが得られるかもしれません。
14	913	余命10年	小坂 流加	文藝社	主人公が病気になり、亡くなるまで必死で生き抜いた内容です。私はこの作品を読んで「人生」や「生きること」について考えさせられました。

15	913	君の臍臓を食べたい	住野 よる	双葉社	映画も感動するけど、本の方が、個人的には好きでオススメの1冊です。
16	913	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	文藝春秋	主人公の優子がたくさんの人に愛されていて心があたまるお話です。
17	913	銀河英雄伝説	田中 芳樹	東京創元社	1日8時間×365日勉強をし続けた浪人時代、気分転換のために手に取った本が銀河英雄伝説(銀英伝)。勉強時間は減らさなかったけど、ノルマをこなした後は、すきま時間を見つけて銀英伝に読みふけていました。その時間も勉強に回したらもっと良い結果を出せたかも…。
18	913	#真相をお話します	結城 真一郎	新潮社	まず、パッケージのインパクトが強烈で、2度見をしてしまいました。内容は、5つの短編からなるミステリー小説。気軽に手に取って読むことができますと思います。私も想像した結末とは違った展開でとても…驚きました！
19	913	宮本武蔵	吉川 英治	講談社	<sup>ナミザイ</sup> 「波騒は世の常である。波にまかせて泳ぎ上手に雑魚は歌い雑魚は踊る。けれど、誰が知ろう、百尺下の水の心を。水のふかさを」高校生時代は、大事な修業の時！精神を研ぎ澄ました修業の在り方を学べる本です。
20	933	ライ麦畑でつかまえて	J. D. サリンジャー 野崎 孝 訳	白水社	高校を退学となった17歳の少年ホルデン・コールフィールドが、クリスマス前のニューヨークの街をめぐる物語。口語的な文体で社会の欺瞞に対し鬱屈を投げかける内容は時代を超えて若者の共感呼び、青春小説の古典的名作として世界中で読み継がれています。また村上春樹の新しい訳は、『キャッチャー・イン・ザ・ライ』。





